

事前に確認しよう!

災害時の避難について

・まず、近くにある ①: 空き地など安全な場所 や ②: 緊急避難場所に避難します。 ・災害が一段落した後に ③: 自宅に戻りますが、家屋が倒壊するなど住めない状況に なった場合は、④:避難所に避難します。

<2: 緊急避難 場所とは

<避難手順

地震や大規模な火災が発生した時 に、周囲の建物や建築物の倒壊から 身を守るためや、延焼による二次災 害から身を守るために緊急避難する 場所で、災害の種類に応じてあらか じめ指定されます。その中でも、安 全性等の一定の基準を満たす施設ま たは場所を「指定緊急避難場所」と しています。

<④:避難 所とは>

・災害が起こった後、自宅に住むことができない状況となった市民が一定期間生活するための施設で、市立の小中学校の屋内運動場、武道場を「指定避難所」としています。・「補助避難所」とは、保育園、児童館などの公共施設の中から、指定避難所に入りきれない状況になるような場合に順次開設する補助的な避難所を指します。

☆地震災害時		☆風水害時
大志小学校 グラウンド	A	大志小学校 2階以上
※指定緊急避難所		大志公民館 建物内
常念公園 公園内広場		大志児童館 建物内
葵公園 公園内広場	•	オリナス一宮 建物内
人比中的群员		
☆指定避難所		☆補助避難所
大志小学校 屋内運動場 28-8704	A	★補助避難所 大志公民館 大会議室 他24-5206
大志小学校 屋内運動場	(A)	大志公民館 大会議室
大志小学校 屋内運動場	(A)	大志公民館 大会議室 他24-5206 大志児童館 遊戯室他

大志連区 ひとくちメモ

所在:一宮市の中心部に位置し、一宮駅の東側から大江川まで、北は市役所 南は地蔵寺あたりまで。連区内には小学校1、保育園1 がある 連区の中央を東西・南北に大通りが十文字に走る

広さ:東西約700m、南北約1Km 起連区とならび一宮市で最も小さな連区

人口:総数 4,960人 男 2,354人 女 2,606人 世帯数 2,411 令和4年10月 歴史: ・大志連区は、古くから真清田神社の門前町として形成され、江戸時代 になると、門前町に毎月3・8日の付く日に三八市が設けられ 物流の拠点として人・モノが行き交う活気あるまちでした

明治22(1889)年~一宮町 大正10(1921)年~一宮市 平成17(2005)年一宮市(2市1町合併)

・一宮大空襲での未消失個所:石山町等の連区南部、大志小学校 参考 youtube動画:写真でたどる一宮大空襲

・第四(だいよん)尋常/国民小学校(明治42年~)

→大志(だいし)小学校(昭和23年~)(連区名も同じ) 出身偉人有名人:江戸末期から明治初期漢詩人・森春濤、元巨人後藤孝志

元中日近藤真市、将棋豊島将之九段、漫画家種村有菜、歌手SEAMO主な祭り、行事:桃花祭、一宮七夕まつり、杜の宮市・まちの宮市

一宮だいだいフェスタ・おいち祭り、鯉のぼりフェスティバル、一宮桜まつり

「Web版大志(だいし)マップ」も ご覧ください↓



大志連区地域づくり協議会の最新 ニュースはこちら↓



名所・旧跡

1 葵公園

徳川家康が関ヶ原の戦いと大坂冬の陣に向かう途中、真清田神社へ戦勝祈願した際、立ち寄った 佐分五郎兵衛清政宅がここにあった。屋敷の藪中 から、旗竿にする竹をとり、家康に献上したこと

が『尾張名所図会』から分かる。そんな縁で、この辺りは「御藪町」「椿町」「御朱印地町」という町名だったが、現在は本町2丁目となっている。



5大江川千年碑

尾張国司に着任した大江匡衡(おおえの まさ ひら)は、悪政と洪水、凶作に悩まされていた農 民たちのために、善政に務め、河川を改修したと いわれている。その川を人々は「大江川」と呼ぶ

ようになった。匡 衡の妻は、歌仙と して有名な赤染衛 門で、真清田神社 に詣でて歌を詠ん でいる。



9浜神明社

社号は、昔は浜辺だったという伝承に由来し、 真清田神社の東に鎮座しているため、東神明社と も言った。日本武尊の叔母上にあたるとされる倭 姫命(やまとひめのみこと)が伊勢神宮を創建す るまでに天照大御神の御神体である八咫鏡を順次

祀っていき、ここから舟に乗って伊勢に向かったといわれ、それにまつわる「御舟繋ぎ松」や「御腰掛岩」が境内にある。



13Re-TAIL(リテイル)

旧尾西繊維協会ビルは昭和8年(1933)に建てられ、昭和20年の一宮空襲にも遺った数少ない建物。茶褐色の外壁に白石の縁どり、ゴシック風のアーチ窓など昭和の面影を今に伝える貴重なビル

である。近代化産業遺産にも登録されている。 現在は「Re-TAIL」という名称で、市内のメーカーから高品質な布を

集め、販売するショップとなっている。



2真清田神社

一宮という市名に由来する真清田神社。古から 「尾張国一之宮」として奉られてきた。祭神は、 天照大御神の孫である天火明命(あめのほあかり のみこと)。境内には、服織神社、三八稲荷社、

桃花祭馬具や戦災を逃れた徳川義直奉納の「 吐水龍」などが展示されている宝物館、「覗き井戸」などがあり、 っているなどがあり、 っているなどがあり、 っている。



⑥八剣社・ポルトガル語の反抗碑

八剣社は、古くは福寿院の境内であった。「開祖空圓上人」と刻まれた碑の裏側には「センテンセ(判決)」、台座には「クロタセウ(磔刑火焙り)」と文字が彫られている。寛永8年(1631)から、756人のもの人が斬罪・磔に処せられた。

難を免れた信者が空円講と称して祀ったといわれている。火炙り刑は一本松塚(現・黒姫神社)で行われた。十字が刻印された主碑と由緒碑は浅野公園に移され、殉教者の霊を慰める「水かけ地蔵」は印田常光庵にある。



10地蔵寺(真言宗豊山派)

奈良時代、行基の創建と伝えられている。本尊 は延命地蔵菩薩。仁王門には、「吽形」「阿形」 像が安置されている。尾張藩主が岐阜へ「御成 り」になる際、小休止に使用したという。門脇に

樹齢400年のイチイガシの切り株があり、境内に濃尾地震の「震災亡霊菩塔」、真清田神社神主「真清田(佐分)清円(きよつら)墓碑」などがある。



14森春濤宅址

文政2年(1819)、森春涛は一宮 のこの地に医者の子どもとして生まれた。代々医者の家柄で、医者 になるべく育てられた。一度は開業するも詩作への情熱を抑えられず、ついに廃業して漢詩人の道を 歩んだ。宅址碑に離接して春濤詩碑「風雨踰函嶺」が併設されたが、大江川畔に移設された。



3常念寺(西山浄土宗)

明徳元年(1390) 足利尊氏の甥とされる空遄召 運上人の開山で、旧九品寺の阿弥陀仏が本尊。天 正年間(1573~93) 兵火で炎上したが、一宮城主 関十郎右衛門が、城の鬼門鎮護のため現在地に移 し菩提寺とした。

一宮城主関氏三代の 墓がある。「蓮の寺」 としても知られ、手 水舎に浮かべた紫陽 花も有名。



4 福寿院(真言宗豊山派)

神亀年間行基の創建、弘 仁年中(810-823)弘法大師 が伽藍を整備したと伝えら れる。文永年中(1264~) 空円上人が再興、10坊を構 えた。室町期の建立とされ、 明治34年に旧国宝に指定された り治室塔は、昭和8年に 焼失した。昭和20年空襲に より本堂なども焼失してい る。本尊は十一面観音。



【焼失した国宝・多宝塔】

7 一宮城跡

関氏は、代々真清田神社の神主をし、社領を守るため城を構えた。東西が約 50m、南北が約 90mの城域を誇り、四方は幅 3.6mの堀と土塁で守られていたという。関長安は、信長、秀吉に仕え、天正12年、小牧・長久手の戦いで討死した。秀吉も立ち寄ったことがあったが、天正18年(1590)廃

城になった。神山小学校は、 明治42年(1909)、ここ城屋 敷跡に「一宮第三尋常高等小 学校」として、設立された。



8三八市の市神堂旧地

三八市の市神様を祀ったお堂があった。三八市 は、享保12年(1727)に始まり、日常品や綿の取引 が行われ、天保13年(1842)には500以上もの店が

真清田神社門前から地蔵寺 あたりまで軒を連ねていた。 現在でも、はねあげ店が門 前両側にその姿を残してい る。かつて、この辺りは東 西の道の交差点で、真清田 神社二の鳥居があった。



11 豊島記念資料館

豊島記念資料館は、昭和41年に一宮市立豊島図書館として建設されたが、中央図書館開館後は、 織機類を収蔵・展示する目的で、資料館として活用されることになった。展示されている織機類は、

「一宮の織物関連遺産 として「近代化産業遺 産群33」の認定も受け ているほど重要なもの で、「尾州」を学べる 場所である。



12梅ヶ枝公園

公園内に鉄道が通っており、汽車をかたどった 遊具や実物大線路が一部敷設されているなど『鉄 道』をテーマにした施設が整備されている。展望 台からは電車を間近に見ることができ、鉄道ファ

ンにはたまらない公園である。早春には梅の花が咲き誇り、散策をしたり、噴水で遊んだりと、人々に親しまれている。



15 旧一宮線橋台跡

名古屋鉄道の前身である名古屋電鉄が、東一宮駅(現・エムズシティー一宮)と名古屋の押切町を結ぶ一宮では最初の「電気鉄道」を、大正2年(1913)に全線開通させ、名古屋への足となっていた。戦後、車の普及とバス化が進み、一宮線は

昭和40年に廃止された。 大江川護岸の石積造り の構造物は橋の橋台跡 で、少し高くなったと ころを鉄道が走ってい



16真清田神社御旅所(富士三社)

真清田神社の桃花祭では、祭神が巡幸し、ここ 富士社境内に神輿が鎮座される。本殿脇に漢詩人 森春濤が桜花祭を詠んだ「三月三日行」の詩碑が



(连) 再出生学

17本町商店街

一宮市本町商店街の歴史は江 戸時代にまでさかのぼり、真清 田神社の門前町として発展、繊 維産業と共に栄えてきた。昭和 46 年には全蓋式のアーケード が設置され、日中から夜にかけ ては歩行者天国となる。ノスタ ルジックな雰囲気のお店とモダ ンでオシャレなお店でショッピ ングや食事を楽しむことができ

20オリナス一宮

オリナス一宮は、大正13年 (1924) に旧名古屋銀行一宮支 店として建てられた歴史ある建 物を、「夢を織りなすつどいの 場」としてイベントなどに活用 できるホールとして再生した、 レトロな味わいのある施設。大 正13年当時を再現した入口を入 ると、旧名古屋銀行の金庫が見 える。

桃花祭 4月3日

18大江川緑道

大江川緑道は、桜並木を活用 し、水の公園ゾーン・桜見橋 ゾーン・おまつり広場ゾーンと して整備され、市民が四季を通 して憩い、集うことができる散 策路。かつては染色工場が多く あり、染め上がりの糸をこの川 で水洗いして、竹竿にさして天 日干しをしていた。大江川や緑 道を美しくしようと「大江川ク リーン作戦」が行われている。

21中央図書館

尾張一宮駅前ビルの5階から7 階が図書館になっている、鉄道 駅と一体になった公立図書館。 館内の利用席は700席以上、閲 覧席やブラウジング席が297席、 学習室277席とブースごとにた くさん椅子が置いてあり、利用 に便利。「おはなしのへや」や 「児童調べ学習室」なども設置 されている。開館時間は9時か ら21時まで。

19一宮市役所本庁舎

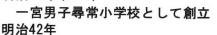
14階展望フロアは、地上50m にあり、展望を楽しむことがで きる。また、「市民ギャリー」 があり、市民の憩いの場となっ ている。11 階のレストラン 「サンライズ」で眺望を楽しみ ながら「一宮モーニング」はい かが。旧庁舎階段手すり大理石 の中のアンモナイトは、13階第 1委員会室傍聴席手すりに再利 用されている。委員会を傍聴し ながら化石探しをしてみては。

22尾張一宮駅前ビル(i-ビル)

平成24年(2012)に開設した、 図書館や子育て支援センター、 飲食店等が集まる複合施設で、 交流・文化拠点としての役割も 担っている。半屋外の開放的な シビックテラスは、イベントな どにも活用され市民の"まちな か"の憩いの場となっている。

大志小学校沿革

明治36年(1903)



一宮第四尋常小学校と改称 大正 6年(1917)

尋常科女子部を合併 大正15年

第7回全国少年野球大会優勝 昭和 2年(1927)

第8回全国少年野球大会優勝 昭和13年

第五尋常小学校(現・向山小)分離 昭和16年

- 一宮市第四国民学校と改称 昭和22年
- 一宮市立第四小学校と改称 昭和23年
- 一宮市立大志小学校と校名変更 平成 7年~
- 一宮市ミニバスケットボール大会優勝3回
- 一宮市民ロードレース大会

男子継走の部優勝4回 女子継走の部優勝2回

東京では茉莉吟社から漢詩 雑誌「新文誌」を発行した。

佐藤一英

森春涛

森春涛は江戸時代に漢詩壇で

大活躍した詩人であり、一宮が

誇れる偉人の一人である。彼は

丹羽の鷲津幽林が開いた有隣舎

で漢詩を学び45歳まで一宮で過

ごした。名古屋では桑三軒吟社

を開き、明和高校の前身になる

藩学明倫堂の教授にもなった。

4歳の時、父が旧豊島図書館の 所にあった一宮裁判所へ転勤と なり、一宮町大字中ノ町22番地 (現・本町四丁目13-14)へ転居 した。一宮男子尋常小(現・大志 小)に入学、3年間ここで学んだ。 終戦後、地蔵寺の門脇にあった 樹齢400年のイチイガシの姿に生 命力を感じて「樫の木文化論」 を提唱。後に、南部中学校校歌 を作詞した。代表作に長編詩 「大和し美(うるわ) し」がある<mark>。</mark>

鎌倉街道

严灭因退;旧场则-

平安時代、京都へとつなぐ貢 納の道であったが、鎌倉時代、 政治の中心の鎌倉と、経済・文 化の中心の京都を結ぶ街道と なった。江戸時代に美濃路や岐 阜街道が整えられたため、鎌倉 街道は主要道ではなくなった。 浜神明社と牛野神明社を通って いたが、現在ではその間のルー トははっきりしない。

岐阜街道

江戸時代に、尾張名古屋と美 濃岐阜を結んだ街道。尾張藩主 の岐阜御成の節は岐阜街道を利 用し、途中一宮宿で休憩をした。 鮎鮨街道とも呼ばれ、尾張藩が 毎年、長良川の鮎鮨を江戸幕府 に献上するために利用した。湊 町笠松には、美濃郡代(明治初 期は岐阜県庁) が置かれ、人が 多く行き来し、物流量の多い街 道であった。

巡見街道

巡見街道は、江戸時代に幕府 から派遣された「巡見使」が 通った道。「巡見使」とは、幕 府が政治の参考にと、諸国の政 情を視察する仕事で、百人ぐら いの大行列をなしていた。藩主 はたいへん気をつかって準備を 行い、村民の負担も大きかった。 巡見使は将軍が変わるたびに派 遣された。

一宮宿

江戸時代初期に整備された岐 阜街道が村の中央を通り、一の 鳥居付近に宿駅ができた。三八 市の中心が現・本町へと移り、 一宮宿もそちらへと移っていっ た。常備の人馬は25人・25疋、 問屋場が2軒あり、尾張藩主の 休憩場所、献上鮎鮨の搬送荷を 美濃街道清須宿へ宿次するなど、 重要な任務をもっていた。

思い出のアルバム

桃花祭 馬具

石山町

旧·消防署、警察

写真提供:博物館・さくら屋



桃花祭





朝日町



杜の宮市・まちの宮市



鯉のぼりフェスティバル



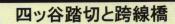
一宮桜まつり

一宮だいだいフェスタ10

一宮七夕まつり 7月下



旧東一宮駅



かつての本町通り





